

校長つうしん No. 9



2016.11.8

鈴木 恵一

AI が人間の頭脳にとって代わる？

すっかり寒くなりましたね。早いもので来月は師走です。授業は順調ですか？前期末の集会で話したことを覚えているでしょうか。「大通高校の単位制・3部制を夢のシステムと勘違いしてはいけない。興味・関心に応じて世界にひとつしかない“わたしだけの時間割”をつくって効率よく学べる仕組みになっている。先生方も最大限の支援をしてくれる。やり直しのチャンスもある。だけど、そこには大きな落とし穴があるよね・・・」と。今回も大通高校での学びを考えてみます。



本校には、ちえりあ（札幌市生涯学習振興財団）との連携による「学社融合講座（ちえりあ講座）」があり、市民と生徒が共に学ぶ貴重な機会となっています。ちえりあの「ちえ」は「知恵」に由来しているそうです（愛称を市民公募し、優しさや温もりのある語感が選ばれたとのこと）。

これからの時代、知識の詰め込みではなく「知恵」の活用が大切だといわれています。いいえ、これは孟子（紀元前300年前後の儒学者）が主張していたので、かなり年季の入った教えなんですね。2000年以上も前から「知恵は大事だよ」といわれていたわけです。辞書で調べてみると、知恵とは「物事の道理を判断し処理していく心の働き。物事の筋道を立て、計画し、正しく処理していく能力」と定義されています。私自身、果たして知恵が備わっているのか？と、ちょっと不安になってしましますが……

類似語として、いま話題になっているのが **AI (artificial intelligence:人工知能)**。

Google が巨額資金を注ぎ込んで AI のプログラムを研究開発しているロンドンの DeepMind 社を買収し、さまざまな分野に応用しようとしています。AI の進化により人間の知識、知恵、知能はどんなことになってゆくのでしょう。プリンシプル・コンサルティング・グループ株式会社代表取締役の秋山進氏は、組織の鍵を握る人材は次の3種類であると述べています。

(1) 官僚的人材(※)で、カネ・モノ・ヒトの調達と運用を正しく執り行う人。

(2) 商業的人材で、顧客満足の実現のために商品・サービスを企画、販売する人。

(3) 研究的人材で、商品・サービスの実現、改善のために技術開発や分析を行う人。

これらのことは経営学の組織論でもよくいわれていることですが、秋山氏は、時代が変わろうとどの人材も必要であると述べています。しかし、今後、比重が高まるのは従来型の学力(テストの点数)では測れないような“商業的センス”を持つ人材と“本当の学力”を持つ技術的・研究的人材こそが企業を中心になるだろうと述べています。このことは、「人工知能の時代において生き残れる人は誰か?」という問いに対する答えであるとも述べています。

商業的賢さのある人が「これは新たなニーズなのではないか?」と勘を働かせ、技術的人材に「最近こんな傾向があると思うんですがどうですか?」と聞く。そうすると、技術的人材が多様なデータを分析し、その結果から新たなニーズの可能性の高さを確率的に推測し本格的な投資へ向けてどうすればよいかを提案する、という流れです。逆に、技術的・研究的人材がデータから新たなニーズを発見し、商業的人材に働きかけることで、顧客や市場に対して効果的な働きかけが可能となり、商品・サービスの実現可能性を高めているという事例も出始めています。

“ビッグ・データ”の時代と言われる今日、そこから法則や秩序を導き出せる研究的人材が不可欠になっています。大学で研究者として活躍していた人材が、研究室ではなくビジネスの現場で探究心を高めながら一定の成果を上げ始めているそうです。「賢い商業者?」「商業的センス?」

たぶん、市場の最前線でさまざまな実践を繰り返しながら身に付けていく能力など、学校では教わらない要素がたくさんあるはず。最近、言われていることは、若い社員は、上司から叱られると言い訳ばかりしたり、ふくれたりする、会社内における自己の相対的な能力を認知できない、自分はまあまあ能力が高いと思い込んでいる、辛いことがあると逃げる、会社を辞める……

こうした状況を踏まえ、若者は社会へ出る前に学校で何を学び何を身に付けるべきか、という話になります。大通高校は「来たるべき人工知能の時代へ向けて!」などという今風なテーマは掲げてはいませんが、「こんな人材を世に送り出したい」という明確なビジョンは間違いなく持っています。

それは、学力の3要素と言われている「**思考力・判断力・表現力**」です。ひょっとして、これも2000年以上前から言われていることなんでしょうかね……

思考力は実践的な問題を解決していく力、自分で問いを立て、自分なりに考えていく力。表現力は、コミュニケーションや議論力、相手の考え方を捉えたうえで自分の考え方を伝える力ということになるでしょう。学校内外の学習には、そんな能力(見えない力~知恵)を養う要素がたくさん詰まっています。そのことをほんの少しでも頭の片隅に置いたうえで勉強することを願っています。